

東南アジア諸国への展開

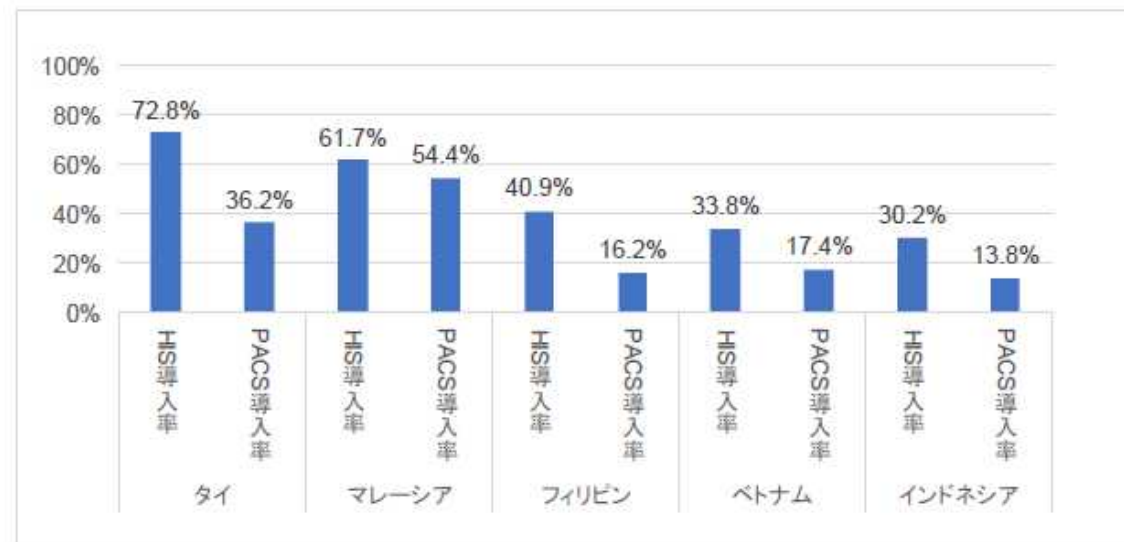
(5) 東南アジア諸国への展開

東南アジア主要国を医療ICTの進展度で区分すると、先進グループ（タイ、マレーシア）、中間グループ（ベトナム、フィリピン、インドネシア）、後進グループ（ミャンマー、カンボジア、ラオス）に分類できる（下図に東南アジア主要国のHIS、PACS導入率を示す）。

本コンソーシアムでは、医療ICTの導入が進むタイに加え、マレーシアでも医療データのサイロ化に悩む病院が増大しており、将来的にこの波はフィリピン、ベトナム、インドネシア等にも波及していくと予想している。

そのため、タイのVNA市場でのポジションの早期確立に努め、その後はマレーシアを皮切りに東南アジア諸国への展開を進めていくことを目指す。

図表 19 東南アジア主要国別、HIS 及び PACS の普及動向（2017 年）



資料：富士フイルム調べ